

平成27年2月 データから見た業界の動き

■ 概 況

昨年同月期は雪害による操業停止や交通障害による配送業務の停滞等により県内の経済は一時的に麻痺状態に陥ったためD I値が悪化したが、今年は消費税増税や円安による原材料等の価格上昇の影響により一年経っても景況感の回復傾向は見られない。

一方、日経平均株価が15年ぶりの高値をつけるなど国内の景気は好転への期待が高まるとともに、円安の「メリット」として輸出増や海外の生産拠点の国内回帰による受注増、訪日観光客の増加は関連業種へ波及効果となっており、併せて石油製品の値下げは企業のコスト負担を軽減させる要因となるなど、明るい兆しが見える業種もある。

しかしながら、国内展開が中心の中小・小規模企業にとっては、原材料価格の高騰や技能者の人手不足、物価上昇に伴う消費者マインドの低下等、利益を押し下げる要素が山積している。

今後、円安進行が県内中小企業者の企業業績を上げるうえで、大きな足かせとなることが懸念される。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製 造 業

食料品 (水産物加工)	催事やギフト関係、ホテルやレストラン向けの生食材も好調となり全体の売上は前年同月比115%。原材料高が続いており採算面は厳しい。
食料品 (洋菓子製造)	自社商品の輸出量が倍増、デパート向け商品も好調だったが、OEMが不振のため売上は前年同月比103%。原材料の高騰が続き採算的に厳しい状況にある。
食料品 (製麺)	昨年は雪害により売上が減少したが、今年は昨年に比べ増加した。
食料品 (菓子)	昨年よりボイラーで使用する灯油代が安くなり経費の減少。
窯業・土石 (山碎石)	平成27年1月に入り、骨材関係の需要が更に悪化し前年対比84.2%。
鉄鋼・金属	昨年は円安や消費税増税に伴う在庫確保のため少し上向きであったが、今年は材料費高騰により在庫が少なくなっている。先行きは不透明。
一般機器	材料代が高騰。
電気機器 (1)	年度末集中型の受注が多く安価なコストや短納期であるため、人件費や原材料等の費用が一時期に集中し過大になる。
電気機器 (2)	円安とアベノミクス効果が中小企業にもあらわれてきたと思われる程度に仕事量が増えてきた。円安の為、海外生産の一部が国内に戻って来ているのも仕事量が増加している要因。
その他 (宝飾 (1))	輸出額が若干増加したが、中国の購買力が減少しており全体的な売上高は減少。
その他 (宝飾 (2))	限定的だが発注量、売上ともに増加。

● 非製造業

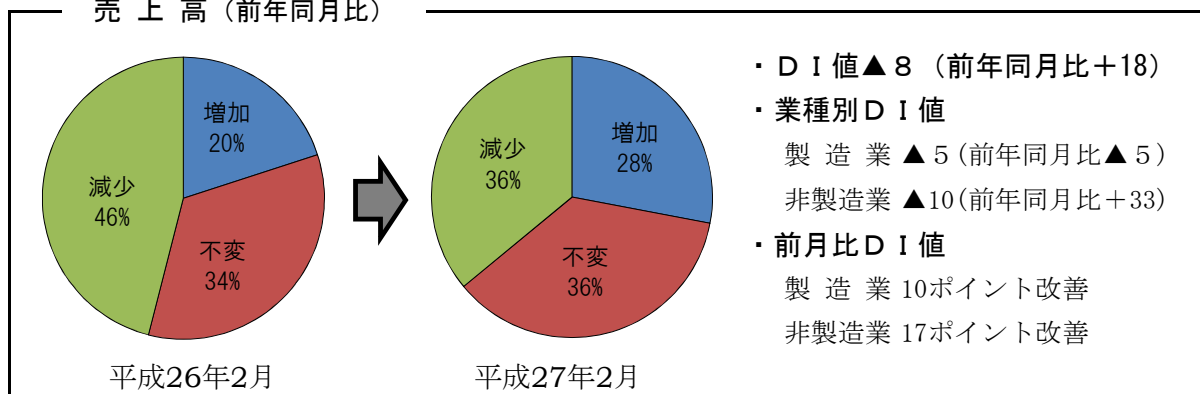
卸売（紙製品）	県外同業者の参入により仕入価格が上昇傾向。
卸売（ジュエリー）	国内流通は、厳しい状況にある。
小売（青果）	低温による野菜類の入荷減のため価格が上昇。消費動向は低調に推移したが全体として売上は上昇。業況は好転の兆し。
小売（食肉）	アメリカ西海岸の港湾ストの影響や円安が追い打ちをかけ国内在庫が逼迫。
小売（水産物）	去年は雪害により物流が停止したため在庫が底をつくほどの特需となったが、今年は去年の状況を差し引いても悪化している。
小売（電機製品）	太陽光発電関連をはじめ主要な白物家電等、全般的に売上が落ち込んだ。
小売（石油）	中東産油国の原油高騰による元売り各社の卸価格の上昇により県内石油製品の販売価格は1月末から10円程度値上
商店街(1)	季節柄、来街者は減少、買い控えの傾向が続いている。
商店街(2)	新ポイントシステムや駐車場売上が好調。
宿泊業	海外からの観光客も僅かだが増加傾向。
美容業	消費者の節約傾向が強まり来店者数、客単価が減少。
建設業（総合）	2月の県内公共工事動向は件数で1.3%減したが、請負金額は63.5%の大幅増となった。大型案件は県外大手が受注しており県内業者への恩恵は少なく、県内業者の受注は減少傾向にある。
建設業（型枠）	年度末に掛けて県内、首都圏ともに仕事量は減少。
建設業（鉄構）	技能者の人手不足が深刻。
設備工事（電気工事）	人手不足が深刻化している。
設備工事（管設備）	民間需要の低迷が続いている。円安による原材料高騰等により収益を悪化。
運輸（タクシー）	早朝需要はあるもが、深夜需要が減少。
運輸（バス）	新運賃制度により売上は増加したが、JRやレンタカー使用へと顧客シフトしたため利用率は低下。
運輸（トラック）	ドライバー不足が顕著化している。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

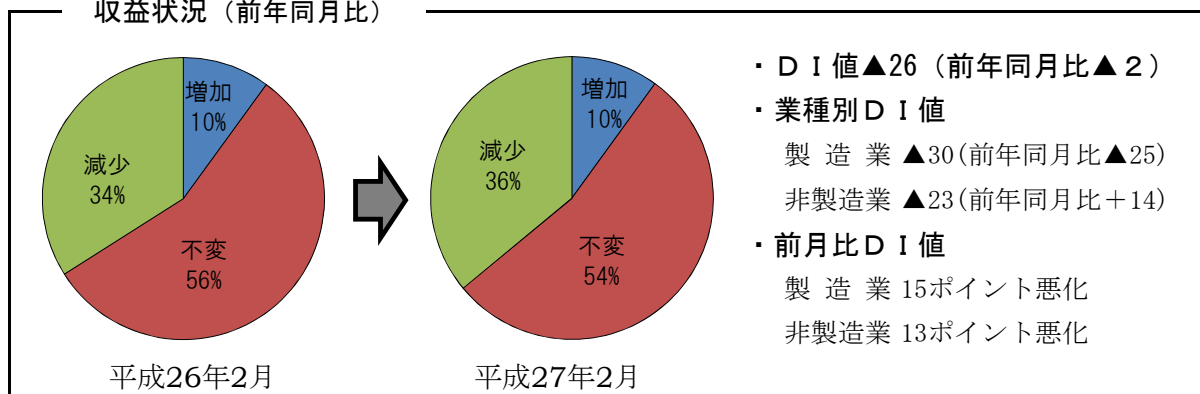
対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2014/2	2015/1	2015/2	2014/2	2015/1	2015/2	2014/2	2015/1	2015/2
売 上 高	0	-15	-5	-43	-27	-10	-26	-22	-8
収 益 状 況	-5	-15	-30	-37	-10	-23	-24	-12	-26
景 況 感	0	-15	-20	-23	-30	-37	-14	-24	-30

※（（良数値÷対象数）×100）－（（悪数値÷対象数）×100）＝D.I値

売 上 高（前年同月比）



収 益 状 況（前年同月比）



景 況 感（前年同月比）

